4-1（一財)アグリオープンイノベーション機構(AOI機構)

設 立 日 ：平成29年4月17日
設 立 者 ：静岡県　（基本財産：静岡県全額出資）
設立目的：オープンイノベーションによる農業とその関連分野における革新的な研究開発と事業化を支援し、全般の販路開拓及び販売力向上の支援産業振興と地域経済の発展に寄与

ＡＯＩ機構の事業内容

農業及びその関連分野における

(1) 情報の収集、分析及び提供
(2) 産学金官の交流及び連携の促進
(3) 革新的な研究開発及び事業化の支援
(4) 販路開拓及び販売力向上の支援
(5) 人材の育成

AOIフォーラムの運営

（会員制のプラットフォーム）

農食健、農商工、産学金官のオープンイノベーションにより新たな価値を創造

〇一般会員　（農業法人・農協・生産者・企業・金融機関）　300会員
〇ポーター会員（行政機関、大学、研究機関）　81会員（R7/４月現在）

4-2　AOIフォーラムの活動

〇ＡＯＩフォーラムは、県内外の農・食・健、農・商・工に関係する産業分野や産学官金の主体が参画し、協創による農業及び関連産業のビジネス展開や新産業を育成するとともに、新しい価値を創造し、民間事業者のビジネス展開を支援することで経済を活性化することを目的とする会員組織。
〇ＡＯＩ機構のコーディーネーターが伴走型支援

◆イベント 開催

- 会員向けセミナーの開催
- 会員向け交流イベントの開催

◆コーディネーターによる研究開発と事業化の支援

- **ビジネスマッチング**の仲介
- **研究開発・事業化・販路開拓**・知財に関する支援
- **資金調達**に関する支援
- **公的支援機関・大学・研究機関**との連携支援
- **広報**によるプロジェクト成果の発信

◆情報提供

- 会員向けウェブサイトの運営
- 収集した情報の提供や会員向け広報誌発行

AOIプロジェクトの人材育成

○先端農業技術を農業現場等で活用できる高度人材の育成
・データ活用型農業、データ駆動型研究、高度複合環境制御、経営・管理者講習　計４講座
○次世代人材の育成
・農林環境専門職大学、農業高校と連携し、県内農業の持続的発展を支える人材を育成する。

データ活用型農業（指導員）
データ駆動型研究（研究員）
高度複合環境制御（指導的立場の者）
経営・管理者講習（経営・管理者等）

ＡＯＩ－ＰＡＲＣ研究員による
農林環境専門職大学での講義

AOIプロジェクト研究成果の広報等

令和６年度ＡＯＩプロジェクト研究成果発表会

研究成果の農業専門誌等への掲載

第７回ＡＯＩプロジェクト勉強会

ＡＯＩ－ＰＡＲＣへの各種視察受入れ

57団体447人（令和６年度）
834団体6,183人（開所から累計）
（ＡＯＩ機構集計）

令和４年７月20日秋篠宮皇嗣殿下が御視察

5-1　AOIプロジェクトの効果と課題

・ AOI-PARCにおいて、研究開発や事業化を促進

静岡県全体でスマート農業への意識が高まった。
各地で様々な動きが出ている。

いろいろなところから、シーズやニーズがAOI機構に持ち込まれるようになった
（我社は、こんな技術を持っているのだが…。こんな食材を探しているのだが…）

しかし、まだまだ個別最適

たとえば、イチゴ栽培「AI学習システム」はできた。
それでも、個々の地域・施設での個別最適に留まっている。

農業データ連携基盤を活用し、これらのデータを収集・解析し、
「全体最適」システムを構築する。

5-3　民間事業者の研究開発の促進

室	機関名	AOI-PARCにおける取組
行政機関		
106	県先端農業推進室	・プロジェクトの企画調整 ・AOI-PARCの施設の維持管理
プロジェクト推進機関		
307 308	(一財)アグリオープンイノベーション機構	コーディネーター等の専門人材を配置し、AOIフォーラムを通じたビジネスマッチングを推進

室	機関名	AOI-PARCにおける取組
学術・研究機関		
109 301 302	農林技術研究所 次世代栽培システム科	・低資源投入型栽培管理技術の開発 ・作物の機能性向上技術、生育促進技術 ・品種開発効率化技術の開発
107 305	慶應義塾大学 SFC研究所AOI・ラボ	・情報科学を活用した作物の最適栽培環境条件 ・食と健康の関係解明に関するビッグデータ解析
108 303	理化学研究所	・光技術を活用した作物状態の精密計測技術 ・品種開発のための高効率変異技術の開発
307 308	(一社)アグロメディカルフーズ研究機構	・アグロメディカルフーズ(AMF)に関する調査、情報収集、提供 ・AMF研究の振興、事業実施への支援

室	事業者名	AOI-PARCにおける取組
ラボタイプ入居者　自ら研究開発を行う者		
203	バイオマス資源開発(同)	機能性成分を高含有するブロッコリーの生産方法の開発
206 207	㈱ＣＵＬＴＡ	屋内環境でのホップ育種効率化に向けた技術開発
212	Allied Carbon Solutions㈱	発酵生産界面活性剤「ソホロリピッド」の農業分野利用技術の開発
213	(同)アークス	化石燃料を使用しない二酸化炭素施用技術の開発
214	㈱ＣＵＬＴＡ	植物工場を利用した高速育種技術の体系化及びイチゴの新品種作出
215	萬寿企業㈱	営農型太陽光発電とスマート農業による営農体系の構築